



REFEREE NEWS

公益社団法人千葉県サッカー協会審判委員会
審判委員会ホームページ：<https://chiba-fa.gr.jp/13judge/>

OCT 2026
年4回WEB発行(1、4、7、10月)



目 次

2026 年度千葉県女子サッカー選手権大会 決勝戦	P.2~5
昇級審査合格者のお知らせ	P.6~7
今年も千葉で開催！U-12 ジュニアサッカーワールドチャレンジ 2026	P.7~10
【特別版】今日も地域で頑張っています！！	P.11~12
【ユース特別版】今日も地域で頑張っています！！	P.13~16
2026 年度 第1回カテゴリーC実技研修会を開催しました！	P.17~18
ベテラン審判員研修の活動報告	P.18~19
レフェリートークライブを開催しました！	P.19~21
U-12 junior soccer world challenge 2026 審判研修会	P.22~23
都市協会だより 千葉市サッカー協会 4 種審判部	P.24
2026 年度の審判資格更新、競技規則の Web 化について	P.25
編纂後記	P.26

2026 年度千葉県女子サッカー選手権大会 決勝戦 (皇后杯JFA第48回全日本女子サッカー選手権大会千葉県予選)

2025年7月26日(日)16:00キックオフ 東総運動場陸上競技場

順天堂大学女子蹴球部 1(1-0、0-0)0 ジェフユナイテッド市原・千葉レディースU-18

R:澤井 朋子氏、AR1:彦坂 由樹子氏、AR2:小川 和則氏、4th:平山 美幸氏(文中敬称略)

今年は東総に戻って開催された、千葉県女子サッカー選手権大会決勝戦を終えた審判団にインタビューを行いました。



(左から 小川 和則さん、澤井 朋子さん、片岡 道夫会長、平山 美幸さん、彦坂 由樹子さん)

Q : 暑い中、お疲れ様でした。まずは、決勝を終えた感想をお願いします。

澤井 : お天気も不安定でしたが、無事に終わることができてホッとしております。

彦坂 : 試合が終わって、ホッとしていますが、主審のサポートが出来なかったのが心残りでした。

小川 : 特に気負うこともなく、自身の役割(副審2)に専念しきった！というのが率直な感想です。

平山 : 暑い中、会場運営の皆様のご尽力、選手の皆様の奮闘に感謝と敬意を感じています。

Q : 澤井さんは2年連続の主審で主審を務められ、去年よりも余裕があるように見えたが、いかがでしたでしょうか？

澤井 : 今年も割り当てをいただき感謝しております。余裕などはありませんでした。緊張でいつも以上に水分を摂取していたように思います(笑)。





Q : 彦坂さんは、初めての副審でしたが、いかがでしたでしょうか？

彦坂 : 皇后杯千葉県予選決勝は初めてですが、県内ではリーグ戦など何回もやっているの初めて感はありませんでした。

Q : 小川さんは、女子の大きな大会の初めての副審でしたが、いかがでしたでしょうか？

小川 : 「皇后杯」につながる大会ということで、その県代表を決める「決勝戦」に審判割当を受けることができたのは、関係者の方々に感謝しています。

Q : 平山さんは、初めての第四の審判でしたが、いかがでしたでしょうか？

平山 : 第4審判の重要性、難しさを改めて感じました。さらに精進が必要だと痛感しています。

Q : ジェフレディースU-18の攻めと順天堂大学女子蹴球部の守り、まるでW杯決勝のような大熱戦でしたが、振り返っていかがですか？

澤井 : 決勝戦という熱い試合の中で、両チームの戦術、個々の技術を間近で見られることは本当にワクワクしました。千葉県のナンバーワンを決めるに相応しい両チームだと思いました。

彦坂 : 高校生と大学生で体格の差があるのか？と思いましたが、そんなこともなく両チーム選手の皆さん、ベンチにいる監督を含め一丸となって勝ちたい！という気持ちが伝わってきて、熱い試合でした。

小川 : いつも思うのですが、女子のみなさんの場合だと、男子の場合より、集団の中で誰かがブレイクスルーすると次から次へと後から続く人が出て、全体の底上げがなされている感じがしています。今回も、試合を見ながら、両チームとも「できて当たり前」の「規準・基準」が上がっていると思いました。

平山 : どんな試合もですが、選手の皆さんが積み重ねてきた努力には頭が下がる思いです。これからも素晴らしい試合を見せていただきたいと思います。

Q : 審判活動するうえで、こだわりやお気に入りのアイテムがあれば教えてください

澤井 : 2級に昇級した際に頂いたバルキーンをいつも大事に使わせていただいております。試合前には笛を握りしめて必ず念じています。あとは、推しのグッズを鞆に忍ばせていることでしょうか(笑)！

彦坂 : 特に、こだわりはないです(笑)。

小川 : アイテムとして、知り合いが誕生日プレゼントに送ってくれた「ホイッスル」です。私の苗字である「OGAWA」が彫られていて、個人的にここぞ！という「主審」のときに使わせてもらっています(フットサルのときにも使わせてもらっています)。

平山 : 私も残念ながら、あまり気にしないので特にないです(笑)。



Q：澤井さん、彦坂さん、平山さん

なかなか家庭の事情等で審判に専念できない女性審判員へ、皆さまからアドバイスがあればお願いします。

澤井：そうですね！この問題はたくさんの審判員が抱えていることだと思います。実際の試合を担当できない時でも、試合を「観る」ということはとても大事だと思います。審判員あるあるなのかもしれませんが、プレーを見ているようで審判団を観て、ポジショニングや、ジェスチャーなど、予期予測をしながら観るととても勉強になります。

彦坂：そうですね。なかなか女性審判、お母さん審判の活動は難しいですね。まずは家族の協力（理解）が必要ですね。審判は楽しいって事、たくさん家族の皆さんにお話して下さい。

平山：なかなか審判に参加できないときは、いつかはできる日が来ると思っています。その時々で 優先順位は変わるのは仕方ないですが、やりたいと思える間はどこかでできるのではないかと！?と思います。



Q：最後に今後の抱負（審判活動以外でも）を教えてください。

澤井：怪我のないよう努めていきたいと思っています。アドバイス頂いたことを吸収し、自分の技術にできるようにしていきたいです。

彦坂：女性審判員が増える様、私も審判をしながら楽しさを伝えられるといいです。

小川：審判活動を続ける限り、「次の試合」があるわけで、その「次の試合」に向けて、「競技規則を学ぶ」、「映像や現地の観戦で学ぶ」、「走力を含めて体力を向上させる」などをし続けていだけと考えています。

平山：どのカテゴリーでも、どんな形でも審判を続けていこうと思っています。前の質問にもありましたが、仕事や家庭のことなどがあっても、続けていけることが目標です。





【動画】※2026年12月31日まで掲載(リンクをクリック)

※下記リンクをクリックすると「不明なエラーが発生しました」と表示が出る事がありますが、その後、映像が再生されます。

[女子選手権決勝入場シーン.mp4](#)

[女子選手権決勝セレモニー.mp4](#)

[女子選手権決勝コイントス.mp4](#)

みなさま、ありがとうございました！

昇級おめでとうございます！

昇級審査合格者のお知らせ

【サッカー3級】(順不同、敬称略)

4種委員会主催(28名)

岩川 健二	大森 俊輔	小澤 翔太	笠間 剛	小石 直諒	小林 光一
境 勇二	島津 勝則	高師 祐翔	高野 兼次	卓 宏亮	田村 潤
土田 勝	富吉 範光	中川 竜一郎	中島 悠貴	西田 邦久	根本 琉生
長谷川 智則	濱口 研	福島 常宏	三木 宏通	湊 大輔	三宅 寛康
森 紀人	山中 裕之	吉永 拓麻	渡邊 剛		

サッカー3級昇級者よりコメント

福島 常宏(ふくしま つねひろ)

我孫子市4種 我孫子翼SCで長男の入団をきっかけにコーチを20年ほどやらせていただいております。現在は我孫子市の審判委員会にも所属させていただいております。

4級でそこそこ出来る審判で良いと思っていましたが、審判部に勧められたことと、ある試合で4級であることに限界を感じて、仲間とともに3級に挑戦することにしました。老眼に苦勞しながら電車の中で受験生のように競技規則を読み、仲間と問題を出し合いながら1ヶ月ほど勉強を続けました。

正直、今でも不安になることもあります。子ども達と一緒に楽しむつもりで、また、少しでも良いジャッジができるように、審判が目立たない良い試合がたくさん増えるように努力しながら今後も積極的に参加させてもらおうと思っています。



大森 俊輔(おおもり しゅんすけ)

子どもの所属するチームに指導者として帯同させて頂くことになり、審判ライセンスを取得しました。

毎年のように改正される競技規則を正しく理解し、試合の動きの中で知識を引き出していく難しさを日々痛感しており、日頃より4種大会において長きに渡り活躍されているベテラン審判の方々や、サッカー未経験でありながら「子ども達の成長に携わりたい」との思いで奮闘されているパパさん・ママさん審判員の方々と関わる中で自分自身も刺激をもらい、昇級審査の挑戦を決めました。

昇級審査の受講を決めてからは、改めてルールブックを読み返ししながら、JFA passportによるeラーニングで理解を深めました。今後とも選手、指導者及び審判員など全てに対してリスペクトを示しながら、円滑な試合進行に尽力してまいります。

高師 祐翔(たかし ひろと)

私は、もともとプレイヤーをしていて、サッカーを別の視点から見て色々なことを勉強したいと思って審判になりました。上級の方々にレフェリーを沢山経験させて頂いて色々なことを勉強し、試験に向けて模擬試験などを沢山行いました。

これから2級を目指したいと思っているので、これよりもっとレフェリーを経験して沢山勉強したいと思います！



**おめでとうございます！
今後のご活躍を期待いたします！！**



～今年も千葉で開催！5年目となりました～

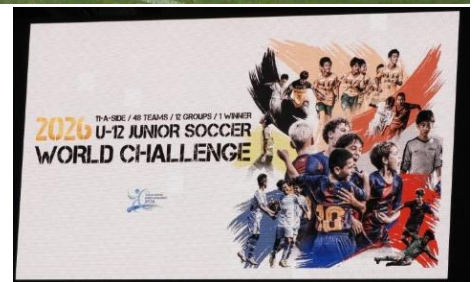


**U-12 ジュニアサッカー
ワールドチャレンジ2026**

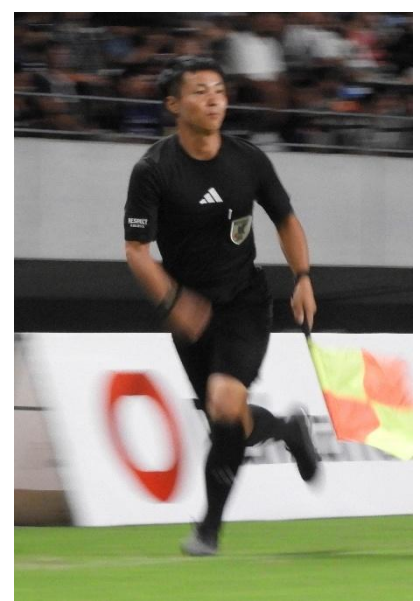
2026年8月21日(金)～8月24日(月)

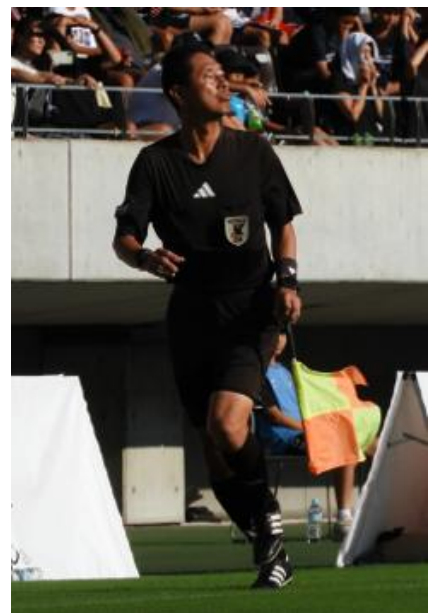
2022年から千葉で開催され、5年目となった「U-12 ジュニアサッカーワールドチャレンジ」ですが、今年は日中時間帯の酷暑を避けるため全て夕方から夜の開催となり、今年も派遣審判員に加えて普及育成部による研修会を開催し、また2種の学生、そしてJAPANサッカーカレッジの生徒さんにも協力していただき、途中雷によるスケジュール変更等も発生しましたが、多くの皆さまのご協力で無事に8月24日の決勝戦まで終えることができました。

当日の様子を掲載します。



決勝戦の審判団(左から石塚氏、村上氏、金坂氏、松井氏)





準決勝・決勝戦入場シーン(以下のリンクをクリックしてください)

※2026 年 12 月 31 日まで掲載

※下記リンクをクリックすると「不明なエラーが発生しました」と表示が出る事がありますが、その後、映像が再生されます。

準決勝第一試合

[U-12 ワールドチャレンジ準決勝入場シーン.mp4](#)

[U-12 ワールドチャレンジ準決勝セレモニー.mp4](#)

決勝戦

[U-12 ワールドチャレンジ決勝戦入場シーン.MP4](#)

[U-12 ワールドチャレンジ決勝終了後.MP4](#)

[U-12 ワールドチャレンジ決勝終了.MP4](#)

U-12 ジュニアサッカーワールドチャレンジ 2026 について

詳細は以下のリンクをご覧ください。

<https://u12-juniorsoccer-wc.com/2026/>

準決勝、決勝戦のライブ配信動画

<https://u12-juniorsoccer-wc.com/2026/live>





【特別版】今日も地域で頑張っています！！

～いつも各地の大会会場で頑張って審判している方々を紹介します～

2026年8月22日(土)U-12ワールドチャレンジ2025

～フクダ電子スクエア、フクダ電子フィールド～



今年も「地域で頑張っています」の**特別版**として、8月に開催された「U-12ワールドチャレンジ」に参加した審判員にインタビューをしました。様々な試合で様々な審判員と一緒に試合を担当し、貴重な経験になった事と思います。今後も多くの審判員の皆さんに有意義な機会になると良いですね！

- | | | |
|-------------------|-------------------------|----------------|
| ①：氏名(敬称略) | ②：審判歴 | ③：審判になったきっかけは？ |
| ④：審判活動で印象に残っていること | ⑤：これから審判は辞められない審判の魅力とは？ | |

①：高芝 純一(たかしば じゅんいち)

②：2020年の春ごろに4級取得したのがスタートです。3級は今年の4月に昇級しました。

③：子供が4種の少年団チームに所属していて、パパコーチに誘われたのがきっかけです。帯同審判員として持っていた方がいいと言われ、同時期に入ったパパさんコーチと一緒に取得しました。

卒業後もチームに残り、今年一年生を見ているのですが、教え方の幅を広げたいと思い、今年春に3級へと挑戦しました。

④：ピッチの中と外でみる視点が全く違い、教えている子供達に、プレーの仕方や正しいルール認識方法など、伝え方には気を付けないといけなかったことを知れたのがとても勉強になりました。

⑤：正しい知見をもって、サッカーという世界的なスポーツを見届ける事が出来る事です。

技術はもちろん、スピーディーになりつつある近代サッカーの中で、ファウルかそうでないかを自分で理解できることは、これからの指導活動にも活かせると思っています。



①：高橋 トオル(たかはし とおる)

②：約4年

③：子どもが4種でサッカー活動を始めたことがきっかけです。その活動の一環として審判員を始めました。

最初は、息子と地域の子供達のためのサッカーを支えるため、最初はファウルを取るのも恐る恐るでしたが、やってみると意外と面白く、いつしかハマってしまい、気がつけば約4年続けています。

④：U-12ワールドチャレンジで、海外チームであるFCバルセロナの試合で主審を担当できたことです。

普通に生活していたら、なかなか経験できることではありません。そんな稀有な経験をする機会をいただけたこと自体、とてもありがたいことだと感じています。

ベスト16の試合でもあり観客も非常に多く、試合前は死ぬほど緊張しましたが、実際にピッチに立つと、普段と同じように一つひとつのプレーを見て判断することに集中していました。DOGSOの判定で初めてレッドカードを出したこともあり、色々な意味で貴重な経験になりました。

- ⑤：誰よりも、どこよりも「特等席」で、間近に試合を楽しめることです。
選手のプレーをすぐそばで見ながら、試合の流れを感じ、その瞬間、その瞬間で判断していく。観客席から見るのとは全く違うサッカーの楽しみ方ができると思います。
また、子どもたちの試合を担当していると、選手の成長を間近で見ることができるのも魅力です。そして、選手だけでなく、自分自身も少しずつ、徐々に、徐々にですが、成長していると感じられることも、続けている理由の一つです。
そして、審判をやっていて一番嬉しい瞬間は、試合後に選手から「ナイスジャッジ！」と声をかけてもらったときです。滅多にないのですけど(笑)。だからこそ、言ってもらえたときは「今日も審判をやっていて良かったな！」と思います。

① 吉田 拓矢(よしだ たくや)

②：5年です。

③：仕事の転勤で山形県にいた頃、小学生だった息子たちが入ったチームの指導者から、「サッカー経験があるならぜひ協力してほしい」と依頼されたことです。千葉県に戻ってからも、所属したチームに「審判資格があるならぜひ！」と頼まれ、続けてきました。

④：今回のワーチャレは世代トップレベルの大会で緊張しましたし、やりがいもありました。こんな土砂降りの中、審判をしたのは初めてだと思います。本業は新聞記者として取材をする側なので、このように取材を受けたことはなく、思い出になりました。

⑤：真剣勝負の中に身を置き、緊張感やプレッシャーもある中、瞬時に判断しなければならぬところに、仕事とは違った責任や重圧があり、刺激的で魅力を感じています。選手をはじめチームは全力で臨み、保護者らも応援する中で下手なことはできないと思うと、勉強やトレーニングをする習慣が身に付き、生活に張りが出ます。

40代ですが、この年齢になって、仕事以外でステップアップしたいと思ったことはないかな……思い浮かびませんね。また、同世代だけでなく、高校生のユース審判から、自分の親世代まで、同じような志を持つ審判として、ピッチで出会えることに感謝しています。



「地域で頑張っている」レフェリーを取材に行きます！

千葉県内の様々な地域で色々な大会が行われて、そこで頑張って活動しているレフェリーを取材に行きます。
例えば、4種の各ブロックが主催する大会で主管部から指定された方々、各市の審判部会から派遣された方々、地域やチームの招待試合において数名で審判を担当する方々など、また「こんな名物審判がいる！」など、紹介したいレフェリーなど情報をいただければ、総務部が取材に行きます。
情報を以下でメールしてください。(大会名、日にち、時間、レフェリーの人数等)お待ちしております。

メールアドレス：cfarc.somu@gmail.com





【ユース特別版】今日も地域で頑張っています！！

～いつも各地の大会会場で頑張って審判している方々を紹介します～

2026年8月21日(金)U-12ワールドチャレンジ2026

～フクダ電子スクエア、フクダ電子フィールド～



今年もユース特別版として、「U-12ワールドチャレンジ」に審判として参加したユース審判員にインタビューをしました。

様々な試合で様々な審判員と一緒に試合を担当し、貴重な経験になった事と思います。

今後の皆さんの成長を期待しています。

- | | | |
|---------------------------|--------------------------------------|------------------|
| ① : 氏名(敬称略) | ② : 審判歴 | ③ : 審判になったきっかけは？ |
| ④ : 審判活動で印象に残っていること | ⑤ : 今回の U-12 ワールドチャレンジに審判として参加して感想は？ | |
| ⑥ : 審判をする前、選手の頃の審判のイメージは？ | ⑦ : ズバリ！選手と審判どちらが楽しい？その理由は？ | |
| ⑧ : 今後の目標とその決意をお願いします | | |

① : 鈴木 優良(すずき ゆら)

② : 7年です。

③ : 膝の怪我をしてしまい、自分の思うようなプレーが出来なくなってしまいました。サッカーには関わりたかったのでサッカーを1番近い位置で見られる審判活動に興味を持ちました。

④ : 試合後に両チームの監督に褒められたことが印象に残っています。

⑤ : まずは小学生のレベルが上がっているなと思いました。基礎がしっかりしていてたくさん走れる全員が素晴らしかったです！

⑥ : 自分のプレースタイルがドリブルとスピードだったのでファールを取ってくれないとイライラしていました(笑)。

⑦ : 審判の方が楽しいと感じています。自分が責任を持ってゲームを進行することの大切さと楽しさを感じています。

⑧ : 今後も審判活動を続けながら、選手が気持ちよくプレー出来るように自分自身のレベルをさらに上げたいです！





- ① : 小笠原 寧音(おがさわら ねね)
- ② : 8年目になります。
- ③ : 小学生の時に所属していたチームの方に誘われたのがきっかけです。
- ④ : 初めて主審をやった試合です。当時は9歳でサッカー自体始めたばかりで、ルールもほぼわかっておらず、ファウルも取れないし試合時間はオーバーするし、練習試合でしたが散々な試合でした。試合が終わった瞬間、チームの大人の方が何人か来て、アドバイスをしてくれたことがすごく記憶に残っています。
- ⑤ : 言語が違うチームもいるので普段より意思疎通が大変だなと思いました。普通の小学生より運動量が多く、プレーに置いていかれることが多かったのでプレーの予測をしながら動けるようにするという課題も見つかりました。
- ⑥ : 審判を始めたのが小学4年生くらいだったので、資格を取った後もしばらくは、審判は「ファウルがあったら笛を吹く!」としか認識していませんでした。
- ⑦ : 審判の方が楽しいと思います! 審判は誰よりも試合を近くで見られますし、私はサッカーが上手なわけではないので、己の才能があまり関係のない審判の方が楽しいです!
- ⑧ : 私は審判の普及をしていきたいと思っています。審判の普及までいなくても、もっとサッカーのルールが大衆的になるようなことをしていきたいと思っているので、まずは審判活動を通してルールをしっかりと覚えて実践できるようにしていきたいです。

- ① : 天水 晶人(てんみず あきと)
- ② : 小学6年生の1月に取得したので、今年で5年目になります。
- ③ : 小学4年生から所属していたチームで、帯同審判員の方に誘われて、始めたのがきっかけです! その後、船橋レフェリートレーニングにも参加させていただいて、より審判への興味が湧きました!
- ④ : やはり、県派遣の初主審の試合は印象的でした。U-15の試合の主審が初めてだったので、とても緊張していました。実際に試合が始まると、スピード感やプレーに強度についていけず、両ベンチからも異議が多発しました。カードを出せばよかったのかなあ!と今でも思い返すと、悔しさが残っています。ですが、その試合を糧に日々、上達できるように努力しています!
- ⑤ : やっぱり、選手のレベルの高さに驚かされました! 改めて、このような機会を頂けたことに感謝しています。試合の中では、言語の壁にぶち当たることもありましたが、試合前にユース研修生の仲間たちと、そのチームに通じる言語を予習しあったりしながら何とか乗り越えることが出来ました。また、JSCのみなさんとも2日間を通して交流させていただきました。自分自身にはなかった視点など、色々アドバイスをしていただきました!
- ⑥ : 正直、選手時代には何度も主審に向かって異議を申したことが多々あります…。でも、ちょっと怖いイメージでした。当時は、ルールをイマイチ理解していなかったのもあって、急に笛を吹かれることに疑問を抱いていました。その気持ちがあるからこそ、4種の試合を担当させていただく時は、より慎重になります。
- ⑦ : 審判です! といっても、選手時代の記憶があまりないのでどちらかといえば、なのですが…。

僕は中学2年まで選手をしていましたが、うまくチームに馴染むことができなく悩んでいた時に、コーチから審判員としての道を示していただきました。なんといっても、審判員はその試合の最前列で、レベルの高い試合を数メートルの距離で見ることができるのは、審判ならではのやりがいだと感じているので、審判のほうが楽しいです! あと、選手やスタッフから「ありがとう!」と言われると、結構うれしいですね。やっていて良かったと思います!

- ⑧ : 1つ大きな目標としては、全日本U-12サッカー選手権大会へ参加することです。全国の選ばれしユース審判員が集まり、切磋琢磨し合うあの舞台は、我々にとっては憧れの舞台です! 今年は、チャンスを数多くいただいているので、無駄にすることなく、全力で挑みたいと思います!



- ①：栗島 颯汰(くりしま そうた)
- ②：7カ月です。
- ③：選手としては一区切りをつけましたが、これまで所属していたチームでは、国内外への遠征など、たくさんのサポートを受けながら素晴らしい環境でサッカーをさせてもらい、多くの経験を積むことができました。
恩返しと言うと大げさかもしれませんが、これまで自分がサッカーを通して得た経験を、これからプロを目指す選手たちや、日本のサッカーの発展のために還元したいと思ったことが、審判活動を始めたきっかけです
- ④：試合終了後に、両チームの監督から「素晴らしい審判でした！」と声をかけていただいたことです。
- ⑤：以前、海外チームの試合を担当した際にも感じたことですが、海外チームは審判員に対するリスペクトがとても高いと感じました。
試合前も試合後も、選手やスタッフが真っ先に審判員のところへ来て、挨拶や握手をしてくれることがとても印象的でした。
- ⑥：プレミアリーグを通して、さまざまな審判員のジャッジを間近で受けてきました。
当時は、「この審判は相手寄りだな」「試合を止めすぎだな」「本当に見えているのかな」など、審判員によって判定や試合のコントロールが全然違うなど、正直感じていました。しかし、自分が実際にレフェリー側に立った今、その責任の重さや審判という仕事の奥深さを改めて痛感しています。
- ⑦：正直に言うと、選手の方が楽しいと思います。
チームに所属する選手とは違い、審判員のトレーニングは基本的に個人で行います。1人でトレーニングをしていると、やはり寂しく感じることもあります。
また、選手として得点を決めたときや、試合に勝ったときに、チーム全員で喜ぶ瞬間は本当に特別です。そういった姿を見ると、「自分もこの輪の中に入りたい」と思うこともあります。
一方で、審判員として試合を担当する中で、「自分が選手だったらこの場面でどんなプレーをするだろう」と考えながらジャッジすることは、まるで自分自身もゲームをしているような感覚があり、とても楽しいです。さらに、大学生やプロ選手など、トップレベルのプレーを間近で見ることができるのも、審判員ならではの大きな魅力だと感じています。
- ⑧：子どもたちの試合では、ルールを守ることの大切さを理解してもらえよう、一つひとつのプレーに対して全力で、公平なジャッジをしていきたいです。
そして、年代が上がるにつれて、自分自身の選手経験からも、たった1点、たった1つのプレーが選手の進路や人生を左右することがあると知っています。だからこそ、どんな試合であっても、一つひとつの判定に責任を持ち、選手が人生を懸けてプレーしていることを忘れずに、自分自身も人生を懸けてジャッジしていきたいと思っています。
その一つひとつの積み重ねの先に、プロフェッショナルレフェリー、そして国際審判員としてワールドカップで笛を吹くという自分の目標への道が開けると信じています。そのためにも、審判の知識や判定技術だけでなく、フィジカル、語学力、人間性など、審判員に必要なすべての力を高めることに全力で取り組んでいきます。





- ① : 舟川 湊恭 (ふなかわ そうすけ)
- ② : 3年ほどです。
- ③ : レフェリー番組などを見ていましたが、あまり無縁の世界で、気づいたらワッペンが届いていました(笑)
- ④ : 茨城で行われた関東記念大会で、私が4thに入らせていただいた時に、あるチームがベンチ入りメンバーではない選手を交代要員として途中出場で出そうとしていました。なんとか気付くことができ、事なきを得ましたが冷や汗が止まりませんでした…。
- ⑤ : 去年も参加させて頂き、毎年各地域の予選を勝ち抜いてきた強豪が熾烈な戦いを広げているのは知っていたので、今までやってきたことを試合で表現できるよう心がけました。まだまだ経験が足りませんが、いい機会になりました。
- ⑥ : 自分はレフェリーにとっても文句を言ってしまうので、良い印象は持っていなかったと思いつつ、レフェリーを知ろうとすることもありました。本能でしょうか(笑)。
- ⑦ : どちらにもやりがいなどはありますし、人それぞれかなとは思いますが、レフェリーをやっている今は、いろいろな人と関われてとても幸せです。
- ⑧ : 高校のうちになんとか2級取得を目指しております。足りないものまみれで試合にならないかもしれませんが、もし自分を見かけたらさまざまなことを教えていただければと思います！ありがとうございます。

- ① : 西澤 匠(にしざわ たくみ)
- ② : 約2年です。
- ③ : もともと審判に興味はありました。学年が上がるにつれて判定に対して違和感を持ったり、一貫性に疑問を感じたりする経験が増えたことで、審判をやってみたいと思うようになりました。
- ④ : 選手から「ナイスジャッジ」と言ってもらえたときと、「あの判定おかしくね!？」と言われてしまったときの両方です。「ナイスジャッジ」と言ってもらえたときはうれしく、審判をやっていて良かったと思います。一方で、「あの判定おかしくね!？」と言われてしまったときは、判定が正しかったときも「基準がブレてしまっていたのではないか？」と反省しますし、判定を誤ってしまったときは「選手に迷惑をかけてしまったなあ」と申し訳なくなります。
- ⑤ : まずは割当をしていただきありがとうございました。海外のチームの試合を担当させていただき、コミュニケーションをとるのには少し苦戦しました。言葉だけでなくジェスチャーのやり方などもっと工夫できた点があったと思います。台湾のチームを担当した際、最後に日本語で「ありがとうございました!」と言ってもらえたことはすごく嬉しかったです。
- ⑥ : 中学生の頃まではお父さんくらいかそれ以上の歳の大人がやるもので、子どもはやってはいけないものくらいに思っていました(笑)。それくらい堅いものだと思っていたので、はじめてこの大会に参加したときに、高校生や大学生で審判をやっている方の多さに驚きました。
- ⑦ : どちらも楽しいですが、やはり審判ですね。無事に1試合終わらせられたときの安心感や達成感は、格別だと思います。
- ⑧ : まずは2級に昇級することを目標に頑張りたいと思います。今は足りない部分だらけですが、目の前の1試合1試合を大切にしながら成長していきたいと思います。今後ともよろしく願いいたします！



◆◆ 2026年度 第1回カテゴリーC実技研修会を開催しました！ ◆◆

審判委員会・普及育成部

6月13日(土)、習志野高校にて「2026年度 第1回カテゴリーC実技研修会」を開催しました。今回は7名の審判員が集まり、U18 3部リーグ2試合をお借りしての実践的な実技研修を実施しました。



初めてU18の割当を担当したという方からは「高い強度に驚いた！」というリアルな声も。ピッチ上では程よい緊張感に包まれながらも、全員が最後まで真剣に研修に参加いただきました！

今回の研修は「吹いて終わり」ではありません！

- ・公式戦での実技
- ・試合直後の指導者によるフィードバック
- ・試合後のプラクティカルトレーニング
- ・後日の試合映像共有(自分のポジショニングや見極めを客観的にチェック！)

と、次のステップアップに直結する充実のプログラムとなりました。

「公式戦を経験してみたい」「指導者から具体的なアドバイスをもらってレベルアップしたい」という方にとって、間違いなく成長のきっかけになる研修です。

アンケートでは指導者の振り返りや映像を活用したことが高評価でした！

【参加者の声】

廣田 健氏

「同カテゴリーの審判員皆様と交流が持てたこと。同じ試合を通じて、意見交換やコミュニケーションが取れたことで非常に有意義な時間をいただきました。

諸先輩方やインストラクターの皆様からのご指導ご指摘で、まだまだ実践 経験不足を再認識できたので、今後のレフリー活動も、1つ1つ積み重ねて楽しみながら成長していきたいと感じました。」

木村 康太氏

「割当をいただくようになって、1年が経ちます。アシスタントレフリーの割が多い中、今回は第4の審判に取り組みました。

競技規則で文面として認識していることを実際に実行することの難しさを感じることができました。その場で指摘をしてもらえることで、学びにつながりました。

また、他の審判員の方の試合に向けての準備や試合中の動きを間近で見ることができたことも、強い刺激を受けました。自分もそのような審判員に近づけるよう、努力を重ねていきます。」

今後もカテゴリーC審判員の皆さんが安心してチャレンジできる実技研修を企画していきます。年内にもう1回開催予定ですので、ぜひ気軽にご応募ください！一緒にレベルアップしていきましょう！



アンケート：<https://x.gd/0UKh1>



RN用参加者感想：<https://x.gd/KJft72>

◆◆ ベテラン審判員研修の活動報告 ◆◆ ～カテゴリーB/C 0-40研修会開催報告～

審判委員会・普及育成部



■活動報告

第1回目に引き続き、第2回目として6月20日、千葉県U18リーグ2部を使用した、実技研修会を実施しました。会場は暁星国際高校を使用させていただき、2試合メンバー8名が参加。主審2名、副審4名、第四の審判員2名の役割で試合を担当しました。

前回同様、2名のインストラクター派遣をいただき、映像の撮影は研修生が担当。インストラクターから試合終了後のフィードバックもしっかり行ってもらい、その後木更津駅の居酒屋で打ち上げ！って訳には行かず、お酒抜きで(皆さんとっても真面目！)7月7日の夜にWebミーティングで映像を確認しながらの振り返り研修も行いました。研修生だけでなく、インストラクター2名にも参加いただき、充実した時間を過ごす事ができました！

【参加者の声】

新田 孝之氏

ベテラン研修会に参加させて頂きまして誠にありがとうございます。

何年も審判をやっているとマンネリ化してしまい、今日の試合が良かったのかどうなのか不安を抱いておりました。

そんなところにこの歳で研修会に参加させていただき、非常に感謝しております。先日の試合においても映像を撮って頂き動き(ポジショニング等)判定、懲戒罰、適用ミスも含め何回も見直すことができました。

アセッサー及び振り返りでの皆さんからのご意見がピンポイントでディカッションができ次の試合に活かしていけそうです。後半に向けてトレーニングにも励み良い準備をしていきますので、関係者の方々宜しくお願いいたします。

堀野 伸也氏

ほぼ同世代の方々と研修を行なっているため、気持ちが変わり大変刺激になっております。映像を撮って振り返りがあるため審判員として、またインストラクターとして非常に勉強になっております。今後も頑張ります！

柘植 政宏氏

運営側としても研修会を担当させていただいていますが、皆さんの意欲がとても高く、改めてとても有難い研修会だと感じております。企画いただいた五十嵐様、洲上様には感謝しかありません。

担当する試合も高校生の2部リーグでレベルも高く、試合映像も副審もすべて映像に入り事象確認も行えるので有意義な振り返り研修も行えます。

この研修を通じて良かった点として、研修生のレベル・年齢が近いので気兼ねなく思った意見を出し合えること、その意見を尊重いただき指導者の方から適切なコメントをいただけること、その結果を受けて次の試合・実技研修会に臨み現場メンバーだけでも改善の意見交換ができること、の3点だと感じています。

全部で6回の実技研修を予定しておりますので、これからも高い目標を持って頑張っていきたいと思います。

■ 普及育成部からのメッセージ

とても充実した研修が出来ているようで良かったです。参加者の声にもある通り、同じレベルの方々が忌憚なく意見を出し合える機会ってとっても貴重ですよ。引き続き千葉県の審判員が成長の機会を提供できるよう、他のカテゴリーも様々な研修会を実施していきたいと考えていますので、皆さんも参加可能な研修会へ、奮ってご応募ください！

◆◆ レフェリートークライブを開催しました！ ◆◆

審判委員会・普及育成部
洲上 祥太

8月2日(日)、幕張総合高校にて「レフェリートークライブ」を開催しました！

今回は審判委員会として初めての試みとして、審判資格をお持ちでない一般の方にも広くご参加いただけるオープンなイベントとして企画。当日はなんと130名の方々にお集まりいただきました！ 近隣の中学校や高校のサッカー部員たち、そして登録ユース審判員のみんなもたくさん駆けつけてくれました。

ゲストには、2025年シーズン限りで惜しまれつつピッチを退かれた元1級・元国際審判員の千葉恵美さんと五十嵐泰之さんをお迎えしました。

WEリーグ/Jリーグの緊迫感ある舞台裏や、日の丸を背負って臨んだ国際試合での熱いエピソードなど、ここでしか聞けない貴重なお話の連続に、会場の皆さんも身を乗り出して聞き入っていました。

トークセッションの最後は、豪華景品を懸けた大じゃんけん大会で大盛り上がり！ 世代を超えて笑顔が広がる、熱気あふれる時間となりました。

事後アンケートでは参加者の97%が「満足」と回答！「審判の活動に興味が出た」「今後もスポーツに前向きに関わりたと思った」といった嬉しい声を多数いただいています。

普段ピッチに立っている審判員の方はもちろん、これから笛を吹いてみたい方、サッカーが大好きな方まで、誰もが楽しめるイベントを今後も企画していきます。

次回開催の際も、ぜひ気軽にご参加ください！

参加者アンケート一覧





じゃんけん大会



トークライブの様子



U-12 junior soccer world challenge 2026

◆◆ 審判研修会 報告 ◆◆

審判委員会・普及育成部
五十嵐 泰之

◆ ワールドチャレンジ2026 審判研修会 概要

- ・2026年8月21日(木)～23日(土)、ワールドチャレンジ2026大会会場周辺にて審判研修会を実施しました。昨年同様、試合(現地フィードバック)・映像分析・試合(現地フィードバック)を組み合わせた研修を8/21～22と8/22～23の2グループに分けて行いました。
- ・研修初日、第1試合90分前に集合しミーティング(挨拶/会場諸注意等)
- ・割当てに沿って試合(主審1試合/副審1試合担当) 試合後インストラクターよりフィードバック
- ・研修2日目昼食休憩を含み3.5時間の座学。20分程度の講義のち、研修1日目の試合の映像振り返り
→3～4人1グループにインストラクターがつき、個々の試合映像から審判員同士+αインストラクターからのコメントを含めたディスカッション。
- ・各会場に移動し研修1日目同様に試合とインストラクターよりフィードバック
解散

◆ 研修内容のポイント

- ・試合-振り返り-試合とフィードバックと目標設定からすぐ翌日に試合がありより実践的な理解が得られる
- ・試合直後のフィードバック、翌日の映像分析でポジショニング・マネジメントを深掘りし判断の根拠を言語化する
- ・海外チームや世代を超えた審判員同士の交流
- ・宿泊研修による密度の高いディスカッション(座学以外にも試合後や夕食時など)

研修の様子



研修の様子

プロジェクターやモバイルモニタを使用し、各グループ(個々)の振り返りを行いました。皆さん積極的に発言頂き意欲的に参加して頂きました。



◆参加者アンケートを実施 研修全体では良い評価を頂いた。

改善要望(アンケートより)

- ・研修日程の追加 (2泊3日希望)
- ・オープンチャット名称の改善 (事務連絡等の周知)
- ・Wi-fi環境の整備 (座学研修室)
- ・雨天時の代替案の準備(雷中断中)

◆ 参加者の声

研修の充実度

「映像と指導者がいて個人的に振り返りもでき、次の試合に生かせる研修でした。」「悪天候でも運営側の配慮で学びの時間が確保され、成長を実感できました。」「2日間で飛躍的に成長を感じられる研修です。まだ参加していない方はぜひ。」

実戦 × 映像の効果

「試合後すぐの振り返り→翌日の映像検証→試合→再振り返りのサイクルが非常に有意義でした。」「自分のレフリング映像を見てアドバイスをいただき、次の試合で改善できました。」

交流・環境

「新潟の若者とも交流でき、楽しい研修会でした。」「夕食会では世代を超えた仲間と意見交換ができました。」「海外チームとのコミュニケーションの難しさを学びました。」

成長への意欲

「自分の身体と心が続く限り、審判員として成長し続けたいです。」「まずはできることを増やし、良いゲームを作れるよう頑張りたいと思います。」

研修グループ2の皆様（研修G1の皆様雷雨対応で撮影できず申し訳ありませんでした）



御参加頂きました審判員の皆様、積極的な姿勢で運営・指導側もとても刺激のある研修となりました。

また大会関係者、参加チームの皆様には審判員に課題は残ったものの多大なご配慮を頂きありがとうございました。

こちらの紙面を持ちまして改めて御礼申し上げます。

今回の課題を次の研修に生かしていければと思います。

○●○●都市協会だより○●○● 各都市よりホットな情報を直接お届けします。

フレンドリーマッチを開催しました (2026.8.23 千葉市中田スポーツセンター球技場)

千葉市サッカー協会 4 種審判部 (鹿野 千秋)

千葉市サッカー協会 4 種審判部では、「交流と審判も選手の気持ちを考える」をテーマに成田市サッカー協会の協力のもと、千葉市と成田市によるサッカーフレンドリーマッチを開催しました。

成田市との交流は、2 回目になります。初回は 2024 年 8 月に開催しました。交流のきっかけは、千葉市 4 種審判部に所属する審判員が、成田市のサッカーチームに所属していたことでした。また、両チームに県審判委員会での知人がいたこともあり、今回の再交流につながりました。

千葉市 4 種審判チームは人数不足のため、同日開催の千葉市 0-50 リーグの選手に応援をいただきキックオフ。今回の目的の1つである「審判も選手の気持ち考える」では、接触の多いサッカーにおいて、ファウルの有無にかかわらず選手が負傷する場面があります。こうした状況で、選手の気持ちを汲み取りながらどのようにコミュニケーションを取り、試合をコントロールするかが重要です。審判自信がプレーすることで、選手目線と審判目線の双方から理解が深まり視野を広げる貴重な機会となりました。



千葉市サッカー協会 4 種審判部では、今後も審判員の技術向上にむけてさまざまな事業を展開していきたいと考えています。次回の交流戦も開催を計画しており、さらに他ブロックの審判部との交流も進めていきたいと思っています。

今回の交流戦に参加くださった皆さまに、感謝申し上げます。

(成田市:日吉台 FC 千葉市:AC ちば、大木戸 SC、チームヤサク)

～2026 年度の審判資格更新について～

今年度も更新講習会(集合講習や実技講習)の開催が少なくなっており、3級・4級のサッカー・フットサル審判員の資格更新については、「JFAラーニング」を利用した資格更新を推奨致しています。

2級のサッカー・フットサル審判員の資格更新については、決まり次第KICKOFFメール等で案内します。

〈JFAラーニング〉 JFA KICKOFFにログインしていただき、

- 1、画面左側の「審判」をクリック。
- 2、「講習会・研修会」をクリック。
→「講習会・研修会申込み」をクリック。
- 3、「更新講習会」を選択。
- 4、「検索」をクリックし「JFAラーニング」を選択して下さい。

JFAラーニングについては下記、URLを参照してください。

[JFAラーニング\(サッカー/フットサル 3級・4級審判員資格更新eラーニング\)](#)



JFA ラーニング (サッカー/フットサル 3級・4級審判員資格更新eラーニング)

- [JFAラーニングについて](#)
- [JFAラーニング受講までの流れ \(サッカー/フットサル共通\)](#)
- [JFAラーニングを受講する前に](#)

JFAラーニングについて

JFAラーニングは、サッカー3級・4級審判員・フットサル3級・4級審判員向けのeラーニング更新講習会です。
サッカーおよびフットサルの審判員として知っておかなければならないことを中心に、資格の更新に必要な内容を学ぶことができます。

※画像はJFAラーニング(サッカー)のイメージ図です。

ログインページ

Web 申請登録
資格の取得・更新はこちら →

なお、「JFAラーニング」の受講は10月から可能です。

受講完了で審判資格の更新が出来ますが受講には期限がありますので、お早めに受講下さい。

※更新講習会(集合講習や実技講習)や「JFAラーニング」の受講期限徒過により更新講習を受けられない場合は、2026年度末で審判資格が失効となりますのでお気を付け下さい。

～競技規則の Web 化について～

サッカー競技規則2026/27については、Web版のみとなりました。以下のURLをクリックするとJFAのページからWeb版の競技規則を閲覧できますのでご確認ください。

また、以下のページからPDF版としてご自分のパソコンや携帯・タブレットにダウンロードが可能ですので活用してください。

<https://jfa.jp/laws/> (JFAのホームページ⇒関わる⇒審判⇒競技規則)

※なお、これまで通り冊子版を希望する方はJFA STOREで購入(1冊税込み1,100円)も可能です。(10月6日時点で在庫あり)

https://official-store.jfa.jp/goods_detail.php?id=2167

編集後記

あっという間に夏のピークが過ぎ、残暑の余韻に浸る間もなく、千葉県内では記録的な豪雨により多くの地域が水害の被害を受けてしまいました。レフェリーファミリーの皆様の中にも、今もお苦しい状況が続いている方がいらっしゃるのではないかと思慮しております。先日私がフットサルの審判派遣で東金市内の会場へ向かった際、道中に水没して動けなくなった多くの車を目の当たりにしたときは言葉になりませんでした。そんな中でも試合や大会は開催されていますが、それはその試合、大会に向けて練習や準備をしてきた選手たちのために何としても開催したいという主催者や運営者の思いや協力があったからこそです。審判員が主役になることは決してありませんが、私たちも試合がなければ活動することはできません。だからこそ、その試合を支えてくださっている方々への感謝やリスペクトは決して忘れてはいけない、そんなことを感じさせられた昨今です。私たちが審判服に付けている「リスペクトワッペン」、付けているからこそ私たちがそれを十分に理解し、率先して体現していくことが大切ではないでしょうか。

全てのフットボールファミリーに、リスペクト。

サッカー・フットサル2級審判員
田口雄一



長谷川 鉄哉

金子 秀之

長田 晃

高野 祐介

中山 達良

田口 雄一

審判委員会 総務部

E-mail: cfarc.somu@gmail.com



公益社団法人 千葉県サッカー協会審判委員会

[審判委員会 | 公益社団法人千葉県サッカー協会](#)